

コンバージョンカウンター™ 設定ガイド

オーバーチュアおよびオーバーチュア・ロゴ、スポンサードサーチ、コンテンツマッチ、その他記載されているオーバーチュアのサービスはオーバーチュアの商標または登録商標です。その他の会社名、製品名、サービス名は各企業の商標または登録商標です。
<最終更新: 2007年4月6日>

はじめに

オーバーチュアのコンバージョンカウンター™は、お客様のサイトにおいて、商品購入、サイト登録、コンテンツ購読、メールマガジン登録などの取引を完了したインターネットユーザーをトラッキング(追跡)し、コンバージョン数、コンバージョン率、コンバージョンコストを算出する効果測定ツールです。

コンバージョンカウンターでは、インターネットユーザーがお客様の掲載内容をクリックしたときに、各ユーザーのブラウザにCookieを配置します。そのインターネットユーザーがお客様のサイトの取引完了ページに進むと、固有のタグがコンバージョンイベントを起動し、Cookieを読み取って、最後にクリックした掲載内容を判断します。この情報は管理画面に表示されます。

概要

サイトでコンバージョンを把握するには、この設定ガイドで説明する数行のコードをタグとして追加する必要があります。その設定方法は、設定ガイド中の「タグの記述方法」で説明しています。また、このガイドでは以下に示すテクノロジーに固有のタグの記述方法も説明しています。

- ・ Active Server Pages (Microsoft Visual InterDev)
- ・ Java Server Pages (ATG Dynamo, BEA WebLogic, ColdFusion MX)
- ・ PHP: Hypertext Preprocessor

コンバージョンカウンタータグが正しく配置されると、24時間以内に管理画面にデータを表示できるようになります。

このガイドでは、コンバージョンカウンタータグを設定するために、HTML やWebに関する知識があることを前提としています。これらの知識がない場合は、貴社WebのマスターまたはWeb開発者に相談してください。

なお、コンバージョンカウンターはYahoo! JAPAN が提供する「Yahoo! ショッピング」のストア内ではご利用いただけません。

定義

タグ: HTMLコードの一部、お客様のサイトの取引完了ページなどに配置

コンバージョン: インターネットユーザーがオーバーチュアの検索連動型広告をクリックしお客様のサイトを訪問して、購入や登録などの取引が完了し、取引完了ページまで進んだ状態

取引完了ページ: 取引の完了を確認するために表示されるお客様のサイトにあるページ(たとえば、「お買い上げありがとうございました」などを表示するページ)。商品購入、メールマガジン登録、購読、その他サイト上で行う各種手続きの完了等の1件の取引が1コンバージョンに相当。

タグの記述方法

JavaScript によるコンバージョンカウンタータグをお客様のサイトの取引完了ページに配置することで、インターネットユーザーがクリックしたオーバーチュア掲載内容から、その結果購入した情報までを収集し、レポートで確認することができます。

まず、管理画面の[アカウント設定]ページに掲載されているコンバージョンカウンタータグを入手します。このタグはお客様のサイトの取引完了ページに配置する必要があります。

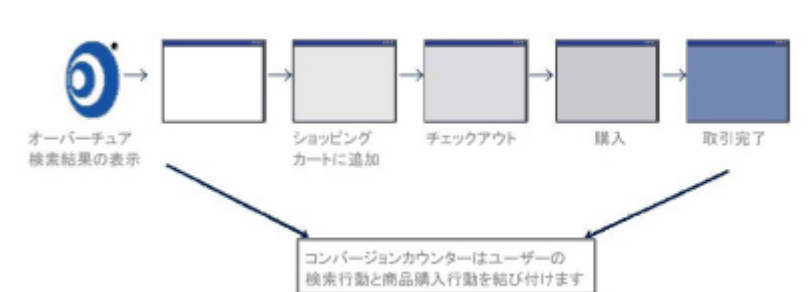
なお、このコンバージョンカウンタータグは変更しないでください。変更するとタグが正常に機能しなくなり、データが正常に収集できなくなるおそれがあります。

サンプルタグ: (使用不可)

```
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
<!-- Overture Services Inc. 07/15/2003
var cc_tagVersion = "1.0";
var cc_accountID = "1234567890";
var cc_marketID = "0";
var cc_protocol="http";
var cc_subdomain = "convctr";
if(location.protocol == "https:")
{
cc_protocol="https";
cc_subdomain="convctrs";
}
var cc_queryStr = "?" + "ver=" + cc_tagVersion + "&aID=" +
cc_accountID + "&mkt=" + cc_marketID + "&ref=" + escape(document.
referrer);
var cc_imageUrl = cc_protocol + "://" + cc_subdomain +
".overture.com/images/cc/cc.gif" + cc_queryStr;
var cc_imageObject = new Image();
cc_imageObject.src = cc_imageUrl;
// -->
</SCRIPT>
```

タグの配置場所

コンバージョンを正常にトラッキング(追跡)するには、取引完了ページにこのコンバージョンカウンタータグを配置する必要があります。他のページに配置すると、正確なコンバージョン数が得られません。



このタグを追加しても、サイトの外見やデザイン、ナビゲーションが変わることはありません。正確なコンバージョンデータを得るためには、タグを正しく配置することが重要です。

このコンバージョンカウンタータグは、HTMLの<HEAD>と</HEAD>タグの間に配置してください。

例: 基本的なHTMLの例

```
<html>  
<head>  
<title>サンプルHTMLファイル</title>  
</head>
```

```
<body>  
サイトのコンテンツ  
</body></html>
```

Java Scriptタグが使用されたHTMLの例

```
<html>
<head>
<title>サンプルHTML ファイル</title>

<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript"> <!-- Overture Services Inc. 07/15/2003var cc_tagVersion =
"1.0";var cc_accountID = "XXXXXXXXXX"; var cc_marketID = "0"; var cc_protocol="http";var
cc_subdomain = "convctr"; if(location.protocol == "https:") {
    cc_protocol="https";

    cc_subdomain="convctrs"; } var cc_queryStr = "?" + "ver=" + cc_tagVersion + "&aID=" +
    cc_accountID + "&mkt=" + cc_marketID + "&ref=" + escape(document.referrer);
var cc_imageUrl = cc_protocol + "://" + cc_subdomain + ".overture.com/images/cc/cc.gif" + cc_queryStr;
var cc_imageObject = new Image();cc_imageObject.src = cc_imageUrl; // --> </SCRIPT>

</head>
<body>
  サイトのコンテンツ
</body></html>
```

その他のタグの記述方法

サイトを作成・管理するために複数の技術を使用しているサイトもあります。コンバージョンカウンターでは、このタグによってインターネットユーザーのブラウザにページが表示される限り、取引完了ページが静的、または動的に生成されているどちらの場合でも動作します。

動的に生成されたページでのタグの記述

動的に生成されたページにコンバージョンカウンタータグを追加するときは、ページのテンプレートにタグを配置してください。テンプレートを使用していない場合は、静的ページのHTMLコード内にタグを配置してください。タグを追加するには、サーバーでSSI (server side includes)が提供されている場合はinclude文を使用するか、あるいは単にページのヘッダーセクションでタグを記述してください。

この設定ガイドでは、以下に示すテクノロジーに対応する例を示します。

- Active Server Pages (Microsoft Visual InterDev)
- Java Server Pages (ATG Dynamo, BEA WebLogic, ColdFusion MX)
- PHP: Hypertext Preprocessor

フレーム付きページでのタグの記述

フレームが使用されている場合は、取引完了ページが含まれるフレームのHTML内にのみコンバージョンカウンタータグを追加してください。

JavaScriptを使用している場合のインクルード

JavaScriptのinclude文を使用して取引完了ページにコンバージョンカウンタータグを配置する場合は、ファイルに保存する前に、先頭と末尾の<SCRIPT>タグを削除します。JavaScriptでincludeを使用する場合、この処理を行わないとコンバージョンカウンタータグが正しく機能しません。また、ファイルのパスを正しく指定しなかった場合、インクルードに失敗します。

注:<script language="javascript" src="conversion_counter.js"></script>

セキュリティで保護されているページと保護されていないページ

コンバージョンカウンタータグは、セキュリティで保護されているページ(URLプロトコルがhttps:であるページ)と保護されていないページ(URLプロトコルがhttp:であるページ)の両方で使用できます。タグではプロトコル(https:またはhttp:)を検出し、セキュリティのレベルに関係なく、すべてのページで一定の動作をするよう調整します。

タグ配置の確認

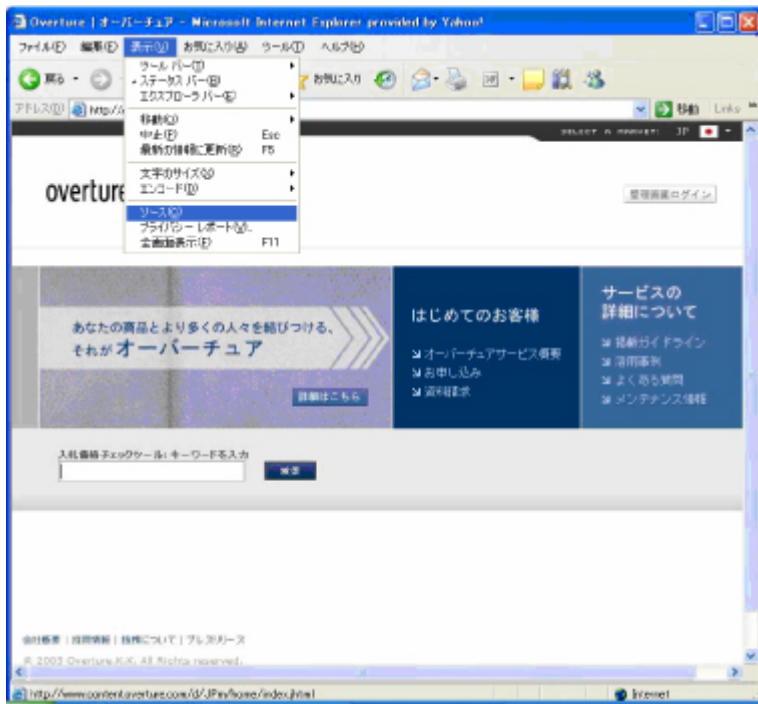
方法コンバージョンデータ追跡のエラーや遅延を回避するため、コンバージョンカウンタータグが正しく配置されていることを確認しておきます。確認手順は次のとおりです。

ステップ1

商品購入や登録などの取引をお客様のサイトからお客様ご自身で行います。このとき、可能であればテスト用のアカウントを使用します。

ステップ2

取引完了ページに進んだら、ブラウザのメニューの[表示]から、[ソース]をクリック(インターネットエクスプローラーの場合)します。ここでは、オーバーチュアのホームページのスクリーンショットを参考に、タグの確認方法について説明します。実際には、お客様の取引完了ページまたは確認ページのソースをご確認いただく必要があります。



ステップ3

HTMLソースコード内を参照し、ページ上の<HEAD>と</HEAD>の間にコンバージョンカウンタータグがあることを確認してください。



```
Sample - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<html>
<head>
<title>サンガ:数値化ページ</title>

<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
<!-- Overture Services Inc. 07/15/2003
var cc_tagversion = "1.0";
var cc_accountID = "1234567890";
var cc_marketID = "0";
var cc_protocol = "http";
var cc_subdomain = "convctr";
if(location.protocol == "https:")
{
cc_protocol="https";
cc_subdomain="convctrs";
}
var cc_querystr = "?" + "ver=" + cc_tagversion + "&aID=" + cc_accountID +
"&mkT=" + cc_marketID + "&ref=" + escape(document.referrer);
var cc_imageurl = cc_protocol + "://" + cc_subdomain +
".overture.com/images/cc/cc.gif" + cc_querystr;
var cc_imageobject = new Image();
cc_imageobject.src = cc_imageurl;
// -->
</SCRIPT>

</head>
<body>
Webページデザイン
</body>
</html>
```

サイト要件

コンバージョンカウンターを配置するためのサイトの要件は次のとおりです。

- ・ 標準のHTMLがサポートされていること
- ・ コンバージョンカウンタータグが取引完了ページに配置されていること

また、検索キーワードクリックの結果のコンバージョンをコンバージョンカウンターで適切に追跡するには、インターネットユーザーのブラウザで、イメージ表示、JavaScript、およびCookieの各機能が有効になっている必要があります。

ACTIVE SERVER PAGE (ASP) の設定方法

概要

独自のサイトを開発された場合、つまりマイクロソフト社のVisual InterDevまたはASPを使用したサイトをご利用の場合は以下をご参照ください。Visual InterDevでは、静的方法(HTML)、動的方法(ASP)のどちらでもサイトを作成できます。一般的には、取引処理(購入、登録)ではサイトにおけるインターネットユーザーのセッション中に動的に生成されるASPが使用されます。ここでは、ASPを使用してコンバージョンカウンタータグを設定し有効にする方法について説明します。

以下の手順を実行する前に、このガイドの前半で説明している「タグの記述方法」について理解してください。

ご注意: IDE(integrated development environment)のバージョンは1.0から6.0までありますが、ここでの説明はすべてのバージョンに適用されます。

手順

ステップ1

Visual InterDevを開いて、購入確認など、取引完了のページを指定してください。IF..ELSE文を使用して同じASPページから複数のページが生成されている場合は、取引完了ページを生成するのに使用されたセクションに移動してください。

ステップ2

ドキュメントの<HEAD>タグと</HEAD>タグの間のヘッダーセクションを指定してください。

ステップ3

次の2つのオプションから選択してください。

オプション1: コンバージョンカウンタータグをドキュメントのヘッダーセクションに直接コピーし、貼り付けてください。その際このタグを既存のタグ内に貼り付けないように注意してください。詳細については、「タグの記述方法」を参照してください。

オプション2: サーバー側のinclude文を使用することもできます。ページをインターネットユーザーのブラウザ側に返す前に、include文によってコンバージョンカウンタータグが挿入されます。このタグのファイル(conversion_counter.js)をサーバーに保存して、場所をメモしておきます。次の例では、サイトのルートディレクトリにフォルダ”Overture”が作成されています。取引完了ページに戻り、ヘッダーセクション内に、コンバージョンカウンタータグのファイルを指定するinclude文を挿入してください。

例:

```
<%@ Language=VBScript %>

<head>

    <title>Purchase Confirmation Page</title>

    <!-- #include file=" ../overture/conversion_counter.js" -->

</head>

<body bgcolor="#ffffff">

<h1>購入確認ページ</h1>
</body>
```

Include文は、ASPページにある他のすべての部分よりも先に処理されるため、インクルードするファイルの位置を指定する際に変数は使用できません

Include文の詳細については、次のURLを参照してください。

<http://www.microsoft.com/japan/msdn/library/default.asp?url=/japan/msdn/library/ja/jpiis/iishelp/iis/htm/asp/iiwainc.asp>

ステップ4

編集した取引完了ページを保存してください。

ページの機能をテストして、コンバージョンカウンタータグがASP/HTMLドキュメントの正しい位置に挿入されていることを確認してください。テスト/開発環境でサイトの取引を完了して確認してください。取引完了ページに進んだら、ブラウザのメニューの[表示]をクリックし、[ソース]を選択し、<HEAD>タグと</HEAD>タグの間のヘッダーセクションに、コンバージョンカウンタータグがあるかどうかを確認してください。この箇所にタグがあれば、設定は完了です。

JAVA SERVER PAGE (JSP) の設定方法

概要

独自のサイトを開発され、次のJSP ツールを使用されている場合は、以下をご参照ください。

- ・ ATG Dynamo
- ・ BEA WebLogic
- ・ ColdFusion MX

JSPは、サイトにおけるインターネットユーザーセッション中に動的に生成されます。ここでは、JSP を使用してコンバージョンカウンタータグを実装し有効にする方法について説明します。以下の手順を実行する前に、このガイドの前半で説明している「タグの記述方法」について理解してください。

注: JSPのコーディングの構文には、環境によって若干の相違がありますが、ここでの説明はすべての場合に適用されません。

手順

ステップ1

JSPエディタを使用して、購入確認ページや登録確認ページ、完了ページなど、取引完了ページを指定してください。条件文を使用して同じJSPページから複数のページが生成されている場合は、取引完了ページを生成するセクションに移動してください。

ステップ2

ドキュメントの<HEAD>タグと</HEAD>タグの間のヘッダーセクションを指定してください。

ステップ3

次の2つのオプションから選択してください。

オプション1: コンバージョンカウンタータグをドキュメントのヘッダーセクションに直接コピー・ペーストしてください。このタグを既存のタグ構造に貼り付けないように注意してください。詳細については、「タグの記述方法」を参照してください。

オプション2: サーバー側のinclude文を使用することもできます。インターネットユーザーのブラウザ用として組み立てられ、include文によってコンバージョンカウンタータグが挿入されます。オーバーチュアタグのファイル(conversion_counter.js)をサーバーに保存して、場所をメモしておきます。次の例では、サイトのルートディレクトリに”Overture” フォルダが作成されています。取引完了ページに戻り、ヘッダーセクション内にコンバージョンカウンタータグファイルを指定するinclude文を挿入してください。

例:

```
<%@ taglib uri="/dspTaglib" prefix="dsp" %><dsp:page>

<html>

<head>

    <title>Purchase Confirmation Page</title>

    <dsp:include src="../overture/conversion_counter.js"/>

</head>

<body bgcolor="#ffffff"><h1> 購入確認ページ</h1></body></html>
```

Include 文は、JSPページにある他のすべての部分よりも先に処理されるため、インクルードするファイルの位置を指定する際に変数は使用できません。

構文のバリエーション:

ATG Dynamo: Dynamoのinclude 文には、構文<dsp:include src=""> が使用されます。上の例は、ATG Dynamoを使用してコーディングされています。ATG 内でのページレベルのコーディングの詳細については、以下のサイトを参照してください。

http://www.atg.com/repositories/ContentCatalogRepository_en/manuals/ATG6.0.0/page_dev/index.html

BEA Weblogic: Weblogicのinclude 文には、構文<jsp:include src=""> が使用されます。WebLogic内でのページレベルのコーディングの詳細については、以下のサイトを参照してください。

<http://edocs.bea.com/wls/docs70/jsp/index.html>

Coldfusion MX: Coldfusion のinclude 文には、構文<cfinclude src=""/> が使用されます。ColdFusion MXでのページレベルのコーディングの詳細については、以下のサイトを参照してください。

<http://www.macromedia.com/support/coldfusion/documentation.html>

ステップ4

編集した取引完了ページを保存してください。ページの機能をテストして、コンバージョンカウンタータグがJSP/HTMLドキュメントの正しい位置に挿入されていることを確認してください。テスト/開発環境でサイトの取引を完了して確認してください。取引完了ページに進んだら、ブラウザのメニューの[表示]をクリックし、[ソース]を選択してください。<HEAD>タグと</HEAD>タグの間のヘッダーセクションに、コンバージョンカウンタータグがあるかどうかを確認してください。この箇所にタグがあれば、設定は完了です。

HYPertext PREPROCESSOR (PHP) の設定方法

概要

確認ページや完了ページに書き込まれたタグをPHPを使用して取得されている場合は、以下をご参照ください。

登録時に受け取った(または管理画面から取得した)JavaScript コードをサーバー上のファイルに保存してから、数行のPHP スクリプトをHTML のヘッダーセクションに追加する必要があります。

- 1) ファイルとして受け取ったJavaScript を保存します。この例では、“overture_cc.js” を保存します。
- 2) このファイルをサーバー上の任意の場所に格納します。たとえば、“/javascript/overture_cc.js” として格納します。3) 確認ページまたは完了ページを編集して、次のPHP スクリプトを追加します。

```
<?PHP$filename = "javascript/overture_cc.js";$fp = fopen($filename,'r');if ($fp) {  
    $js = fread($fp,filesize($filename));echo($js);fclose($fp);  
}  
<?>
```

手順

上記のスクリプト内のファイル名変数に指定される値は、次の3つの項目に応じて決まります。1)オーバーチュアから受け取ったJavaScriptファイルの名前 2)オーバーチュアから受け取ったJavaScript ファイルの格納場所 3)確認ページまたは完了ページのテンプレートの格納場所を基準とした、JavaScriptファイルの相対的な格納場所

上記の例で示すように、確認ページまたは完了ページと同じディレクトリ内にjavascriptという名前のディレクトリ(フォルダ)があり、そのフォルダ内に“overture_cc.js”という名前のファイルがあります。この処理の実行方法がわからない場合は、貴社のWebマスターにお問い合わせください。

PHPのコーディング規則や構文の詳細については、<http://www.php.net>を参照してください。